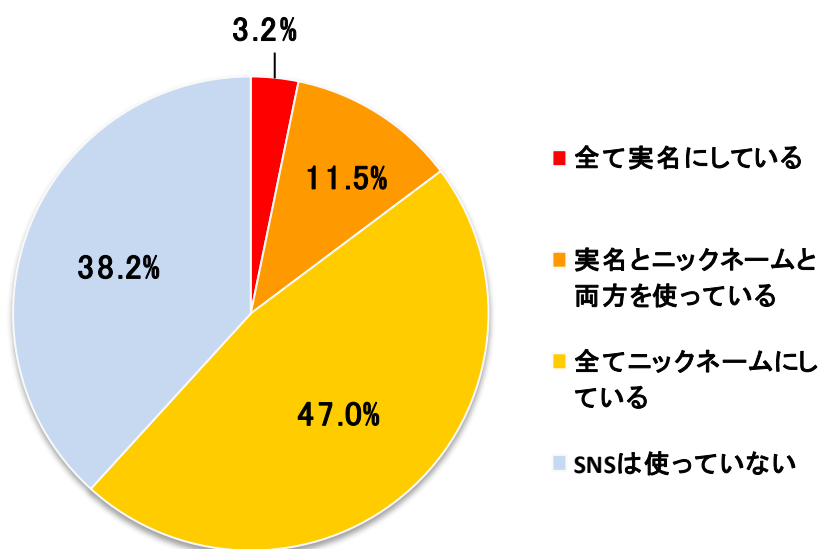


あなたは SNS 上では 実名ですか？ニックネームですか？



ネット社会が急速に進む現代において、組織情報や個人情報の取得や複製、拡散は容易なものとなりました。個人情報を悪用した犯罪は増加し、2005年には個人情報保護法が施行され、現在も日々強化されています。

しかし、日常生活を眺めてみると、個人情報を提供しなければより良いサービスが受けられないといったケースは増えています。また、各種ウェブコミュニケーションサービスは匿名であることによってその隆盛を加速させてきましたが、最近になってそれと逆行するような、実名を奨励するサービスや風潮が生まれ、普及してきています。

そこで、岡山の生活者はソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）をどのくらい利用しているのか？その際、実名であるのか？ニックネームであるのか？について、「岡山生活者意識調査」のモニターの皆さんにたずねてみました。

「全て実名にしている」「実名とニックネームと両方使っている」といった実名利用者は14.7%、「実名とニックネームと両方使っている」「全てニックネームにしている」といった匿名利用者は58.5%となりました。「SNSは使っていない」38.2%を除いた場合には、匿名利用者の割合は9割を超えます。

【調査概要】

調査時期：2011年1月25日(火)～2011年1月31日(月)

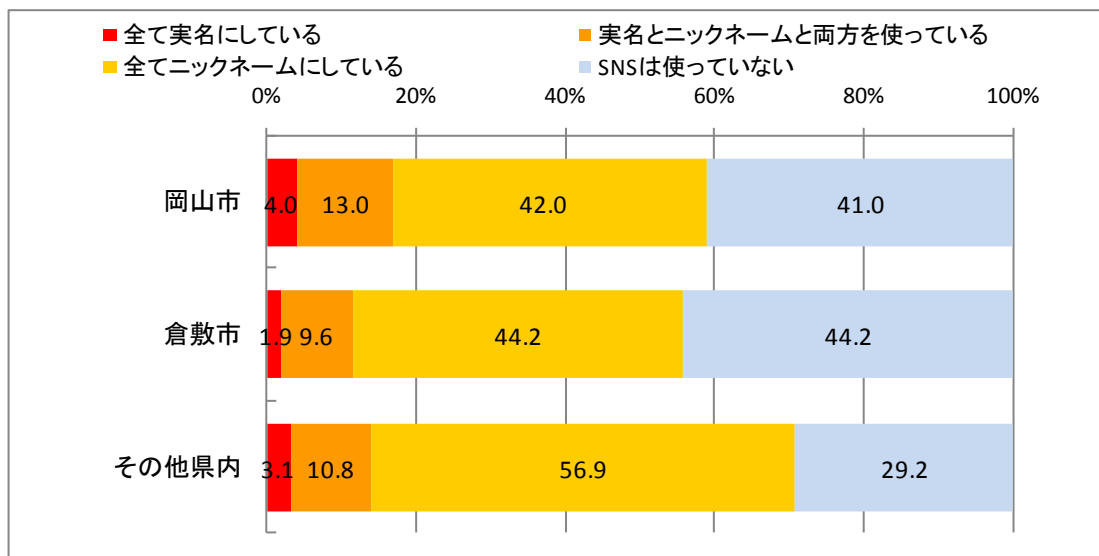
調査対象：岡山県在住の男女217名(「岡山生活者意識調査」にご協力いただいているモニター様)
(回答率83.5%)

調査方法：インターネット調査 ◎男性49.8%、女性50.2%

◎20代26.3%、30代25.8%、40代23.5%、50代以上24.4%

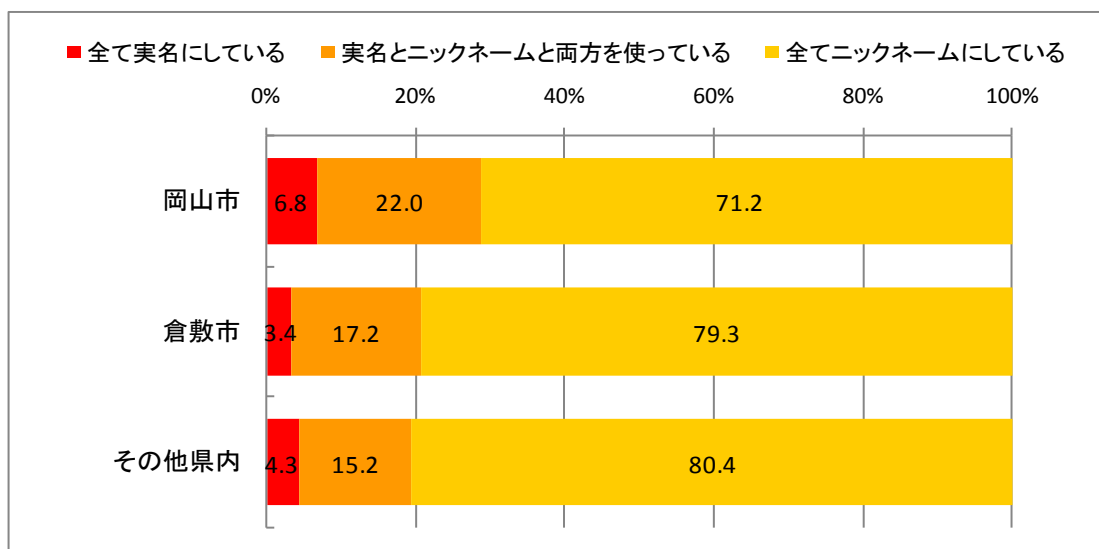
◎岡山市46.1%、倉敷市24.0%、その他県内29.9%

●あなたは SNS 上では実名ですか？ニックネームですか？ 【地域別】



※データ値は、四捨五入による集計上の誤差が生じることがあります。

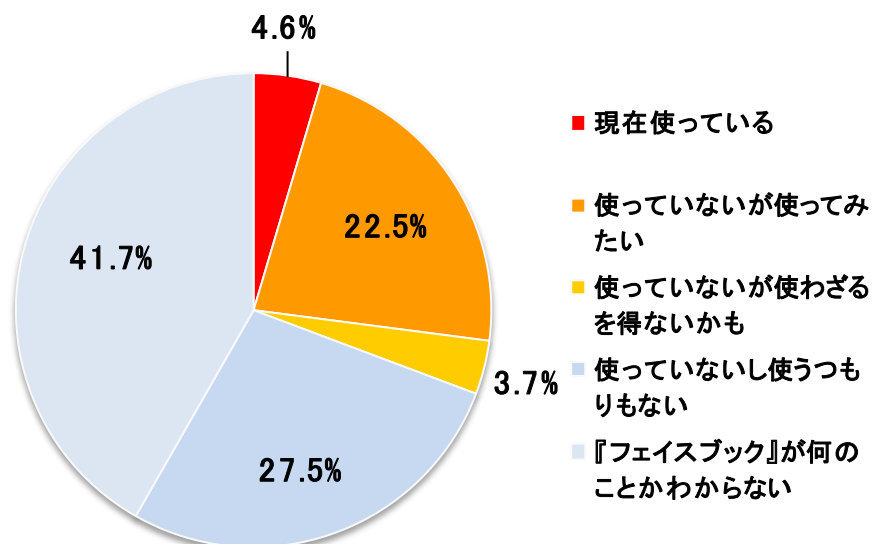
地域別でみると、SNS 利用者の割合は「その他県内」が最も多い。「岡山市」や「倉敷市」は「SNS は使っていない」という未利用者が 40%を超え、「その他県内」よりも 10%以上多い結果となっている。



SNS 利用者のみでみてみると、「全て実名にしている」「実名とニックネームと両方を使っている」といった実名利用者は、「岡山市」28.8%、「倉敷市」20.6%、「その他県内」が 19.5%であった。

「岡山市」は SNS 利用者の割合は多くないが、利用している人たちは、実名利用者が他エリアよりも多い。対して、「その他県内」は SNS 利用者は多いが、実名利用者は「岡山市」よりも少ない。「その他県内」は実名を必要としない使い方をしている人が多いと考えられる。

『フェイスブック』を使いたいですか？

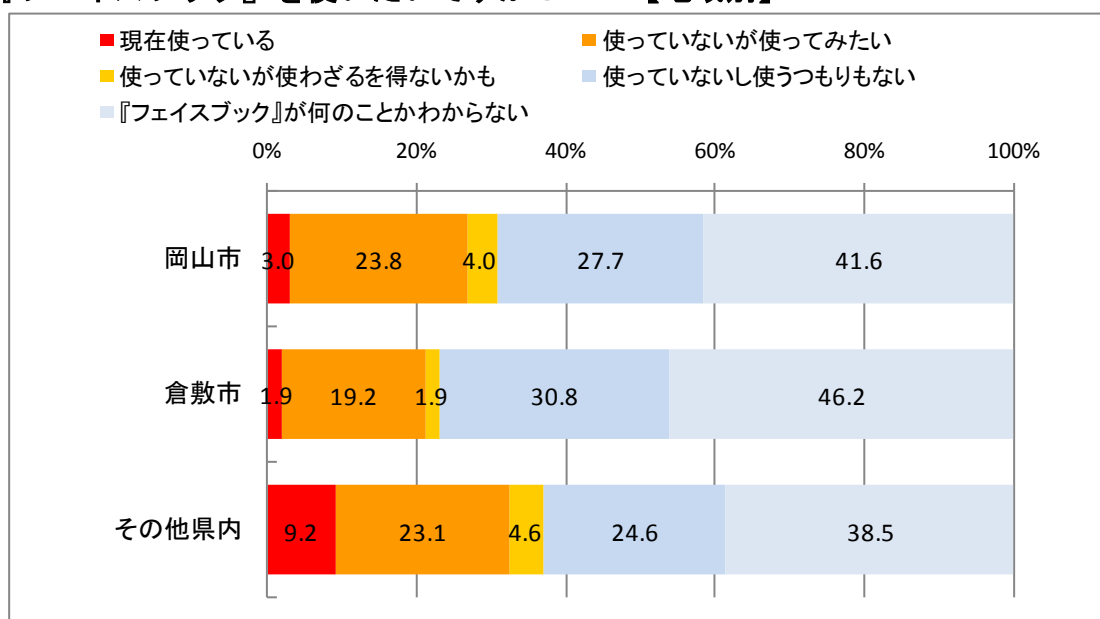


続いて、昨今メディアによく取り上げられている米国生まれの実名登録 SNS『フェイスブック』について、その利用状況と、関心の具合をたずねてみた。

日本での登録者数は2月28日時点で約255万人、普及率は2%とのことだが、岡山県において「現在使っている」と回答した人は4.6%、「使っていないが使ってみたい」と関心を示した人は22.5%、「使っていないが使わざるを得ないかも」と回答した人は3.7%という結果となった。米国の大学では強制的に学生に登録させる事例や、日本企業でも採用の条件に挙げるなどの事例も見られ始め、今後必要に迫られて登録する人も増えると考えられる。

一方、27.5%が「使っていないし使うつもりもない」と回答、41.7%が「フェイスブックが何のことかわからない」と回答した。

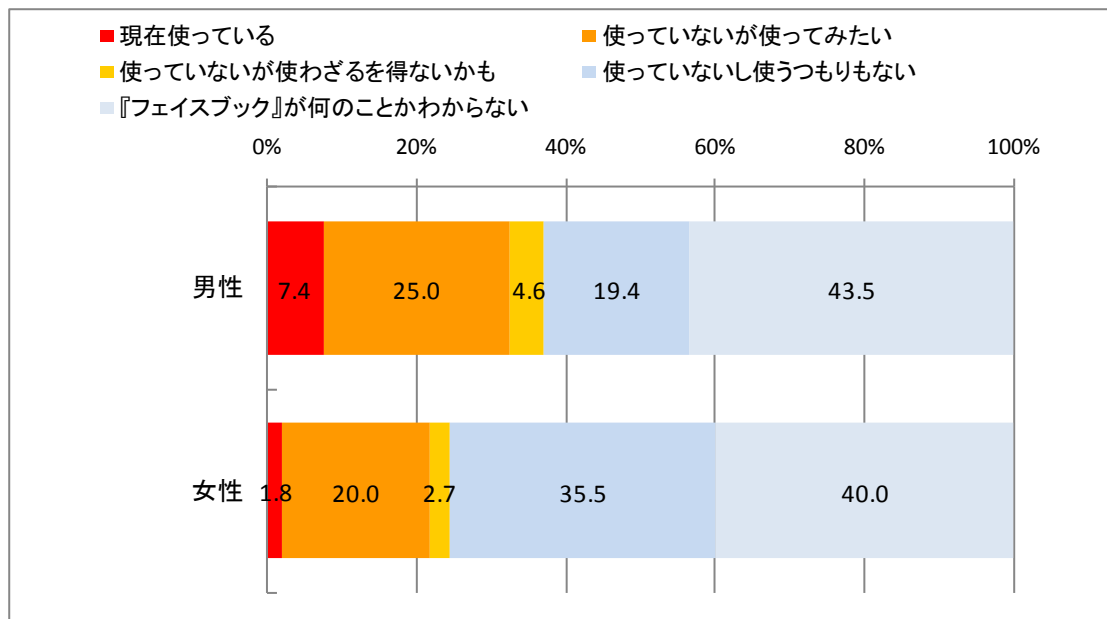
● 『フェイスブック』を使いたいですか？ 【地域別】



地域別でみると、利用者が最も多かったのは「その他県内」9.2%で、「岡山市」3.0%や「倉敷市」1.9%とは大きな差が見られた。「フェイスブックが何のことかわからない」といった未認知者は、「岡山市」41.6%、「倉敷市」46.2%、「その他県内」38.5%で、SNS未利用者同様、「倉敷市」が最も多く、「その他県内」が最も少なかった。

「使っていないが使ってみたい」と関心を示している人は、「岡山市」23.8%、「倉敷市」19.2%、「その他県内」23.1%となっている。「使っていないし使うつもりもない」と無関心な人は、「岡山市」27.7%、「倉敷市」30.8%、「その他県内」24.6%。

【男女別】



※データ値は、四捨五入による集計上の誤差が生じることがあります。

男女別にみると、『フェイスブック』の利用者が多いのは男性のほうで7.4%、女性の利用者はわずか1.8%であった。この結果に、「使っていないが使ってみたい」「使っていないが使わざるを得ないかも」といった、今後利用する可能性のある人を合わせると、男性は37.0%、女性は24.5%となった。

男女差が大きかったのは「使っていないし使うつもりもない」という回答で、男性19.4%に対し、女性は35.5%を占めた。その理由をたずねてはいないが、関心の低さというほかに、女性の場合とりわけ個人情報開示によるネット犯罪への不安や、現在利用中のSNSへの高い満足度などがあると考えられる。

本件に関するお問い合わせ

協同組合 岡山情報文化研究所／原内
〒700-0824 岡山市北区内山下1-3-1 電話 086-225-8181
「岡山トレンドウォッチャー」(<http://www.vis-a-vis.co.jp/>)